

修正前

目標像4 こどもが自己肯定感を持ち健やかに育つ

施策4－7 児童や青少年の居場所づくり

【施策の目標】

児童が身近な地域で友だちと触れ合いながら安心して過ごすことができ、青少年が社会の責任ある一員として成長できるようにします。

【施策を取り巻く現状と課題】

- ・共働き世帯の増加や働き方の多様化により、放課後の子どもの居場所への充実が期待されています。各々の子どもの成長及び発達に適した多様な居場所の確保や子ども同士の交流が促進される安全安心な環境の整備が求められています。
- ・児童センター（館）や放課後の居場所では、子ども及び子育て家庭にとって身近な拠点として子どもの健全な成長及び発達を支援するほか、子ども及び保護者に対する相談機能も求められています。
- ・青少年が地域と関わる機会が減少している傾向があり、青少年育成活動に対する問題意識に地域差が見られるため、地域の実情に応じながら、地域に関わりやすい環境や仕組みによる青少年の育成が必要です。また、青少年を取り巻く課題に対し、地域資源の活用や福祉施策との連携が求められています。
- ・青少年育成団体、保護者に対して情報提供の充実及び問題の共有化を図ること並びに青少年育成団体等が中心となって活動する人材の育成及び確保が必要です。

【課題解決に向けた取組内容】

	取組内容	概要
①	学童クラブとわこうっこクラブの一体型 <u>施設又は一 体的な運営等による児童 の居場所づくりの推進</u>	<ul style="list-style-type: none">・新・放課後子ども総合プランに基づく、学童クラブとわこうっこクラブとの一体型<u>施設又は一 体的な運営等による児童 の居場所づくりの推進</u>により、放課後における児童の居場所の充実を図ります。・既存施設や小学校の教室等を最大限活用するなど、放課後の居場所を確保します。・<u>学校や地域と連携して、朝の子どもの居場所を確保します。</u>
②	児童や青少年の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none">・児童センター（館）や公園など公共施設等を活用し、児童や青少年が幅広く利用できる居場所づくりを行います。・児童や青少年が主体性を持ち、より良い居場所づくりに参画できるよう地域等と関わる仕組みづくりに取り組みます。
③	青少年健全育成活動の支援	<ul style="list-style-type: none">・青少年活動団体や保護者に対し、研修や情報交換の場を提供します。・青少年が親や地域の人、異年齢も含めた友だちとコミュニケーションを図ることを目的とした事業を実施します。
④	児童や青少年に対する相談支援の強化	<ul style="list-style-type: none">・学童クラブ及び児童センター（館）等の放課後の居場所において、児童や青少年が抱える困難や保護者が抱える子育てに対する不安が解消されるよう子育て世代包括支援センター等と連携した相談機能の充実に取り組みます。

修正後

目標像4 こどもが自己肯定感を持ち健やかに育つ

施策4－7 こども・若者の居場所づくり

【施策の目標】

こどもが身近な地域の大人や友だちと触れ合いながら安心して過ごすことができ、社会の責任ある一員として成長できるようにします。

【施策を取り巻く現状と課題】

- ・こども・若者にとって、居場所は遊び、体験活動、オンライン空間等多様に存在し、どこを居場所と感じるかは、こども・若者本人が決めることです。居場所は日々変化しやすいため、当事者の意見を聴き、すべてのこども・若者が自分らしく安心して過ごせる多様な居場所を持てるよう支援していくことが必要です。
- ・共働き世帯の増加や働き方の多様化、様々な社会情勢の変化等により、子どもの居場所の充実が期待されています。子どもの成長・発達に適した多様な居場所の確保とともに、子ども同士やこどもと大人との交流が促進される安全安心な環境の整備が求められています。
- ・児童センター（館）、学童クラブ、わこうっこクラブ等では、こどもにとって身近な居場所として子どもの健全な成長及び発達を支援するほか、こども及び子育て家庭に対する相談機能も求められています。
- ・こども・若者が地域と関わる機会は減少傾向にあるため、身近な地域との交流も含め、それぞれのライフステージに応じた多様な居場所を持てるよう地域と連携して取り組んでいくことが必要です。

【課題解決に向けた取組内容】

	取組内容	概要
①	学童クラブとわこうっこクラブの一体型運営等による子どもの居場所づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブとわこうっこクラブとの一体型運営により、放課後における子どもの居場所の充実を図ります。 ・既存施設や小学校の教室等を最大限活用するなど、放課後の居場所を確保します。 ・学校や地域と連携し、朝の子どもの居場所を確保します。
②	こども・若者の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童センター（館）などの公共施設等を活用し、こども・若者が幅広く利用できる居場所づくりを行います。 ・こども・若者の多様な居場所づくりをこども・若者の声を聴き、共につくっていきます。
③	青少年健全育成活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年活動団体や保護者に対し、研修や情報交換の場を提供します。 ・こども・若者が地域で孤立することを防ぐために、同世代の友だちだけでなく、地域の人など、多世代と交流できるイベントを支援します。
④	こども・若者に対する相談支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブ及び児童センター（館）等の子どもの居場所において、利用する子どもの状況を観察、把握し、関係機関等と連携した相談機能の充実に取り組みます。

修正前

目標像10 趣味などを通して充実した時間を過ごせる

施策 10－3 スポーツ・レクリエーション活動の推進

【施策の目標】

市民が身近な場所でスポーツ・レクリエーションに親しみ、自主的に取り組めるようにします。

【施策を取り巻く現状と課題】

- 既存施設の老朽化・劣化が進んでおり、年々増加するスポーツ施設利用者の要望に応えるため、スポーツ・レクリエーション活動のための場所の計画的な維持・管理が求められています。
- スポーツ・レクリエーションの参加状況は、その内容によって参加者の年齢層に偏りがあり、幅広い世代に対するスポーツ・レクリエーション活動への参加意識を高めるための取組が求められています。
- 多種多様な事業を展開していくための体育団体の担い手が不足しているため、担い手の確保が求められています。

【課題解決に向けた取組内容】

	取組内容	概要
①	スポーツ施設の利用促進	<ul style="list-style-type: none">総合体育館、運動場、和光スポーツアイランド及び広沢複合施設における市民プールなどのスポーツ施設をスポーツ・レクリエーションの活動拠点として利用を促進します。
②	スポーツ施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none">施設の計画的な維持管理を行っていきます。
③	学校施設や国の施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none">市内の小中学校の校庭及び体育館の学校開放の利用を促進していきます。市内にある国の施設を有効に活用するため市民開放を継続できるよう関係機関に働きかけます。
④	参加しやすいイベントの企画・開催	<ul style="list-style-type: none">市民ニーズに対応した参加しやすいイベントを企画・開催していきます。
⑤	スポーツ・レクリエーション活動に関する情報発信	<ul style="list-style-type: none">広報紙や市ホームページなどを活用して情報発信をしていきます。
⑥	体育団体の役員の後継者の養成	<ul style="list-style-type: none"><u>体育団体の後継者の養成を支援します。</u>

修正後

目標像10 趣味などを通して充実した時間を過ごせる

施策 10－3 スポーツ・レクリエーション活動の推進

【施策の目標】

市民が身近な場所でスポーツ・レクリエーションに親しみ、自主的に取り組めるようにします。

【施策を取り巻く現状と課題】

- ・スポーツ施設の利用人数は着実に増加している一方で、世代によって、スポーツ・レクリエーション活動のニーズが異なるため、ライフステージに応じたスポーツの機会の充実が求められています。
- ・一部のスポーツ施設では老朽化が進んでいるため、スポーツ施設の計画的な維持・管理が求められています。
- ・スポーツを支える人材を育成するため、スポーツボランティアに関する情報提供や、スポーツ関連団体への支援が求められています。

【課題解決に向けた取組内容】

	取組内容	概要
①	スポーツ・レクリエーション活動の充実	・スポーツ施設の指定管理者やスポーツ関連団体と協力し、幅広い世代を対象としたスポーツ・レクリエーション活動の充実を図ります。
②	スポーツ施設の維持管理	・公共施設マネジメント実行計画をもとに、スポーツ施設の計画的な維持管理・修繕を行います。
③	スポーツ施設の利便性向上	・スポーツ・レクリエーションに取り組みやすい環境を作るため、スポーツ施設の利便性向上を図ります。
④	参加しやすいイベントの企画・開催	・年齢性別問わず、誰でも気軽にスポーツを体験し、楽しむことができるイベントを実施します。
⑤	スポーツ・レクリエーション活動に関する情報発信	・観るスポーツやスポーツが出来る場所などのスポーツ関連情報について、積極的に広報します。
⑥	スポーツを支える人材の育成支援	・スポーツイベントにおいてボランティアを募集する際には、多様な広報媒体を活用して、情報提供を行います。 ・スポーツ関連団体に対して、団体の活動を支える人材の育成支援を行います。